

平成 30 年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎中央
 東京 I T 会計専門学校名古屋校
 学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「平成 29 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 平成 30 年度学校関係者評価委員会

< 委 員 > (五十音順)

石津 健人 氏 株式会社 N E F コミュニケーションズ 卒業生
 井戸千菜美 氏 株式会社インテックソリューションパワー
 川岸 巧 氏 川岸税理士事務所 代表 税理士
 古川 太一 氏 株式会社日本旅行 名古屋法人営業支店 営業 2 課 課長

< 事務局 >

千葉 一郎 校長
 塚原 一功 教務部部長
 中田 秀樹 教務部課長
 鋤持 政幸 教務課課長
 水落 克己 教務課課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	<p>イ．教育理念、目的、育成人材像について定められているか 教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、人格の陶冶と簿記、会計、情報処理及びビジネスに関する正しい知識を身につけ、日本経済の発展に貢献出来る人材の育成を目的としている。</p> <p>ロ．学校教育における職業教育の特色は何か 公認会計士、税理士、情報処理技術者試験、旅行業務取扱管理者試験などの国家試験や日本商工会議所簿記検定などの資格試験の合格者を輩出しており、民間企業就職率も高い実績をあげている。これらは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。</p> <p>ハ．教育理念、目的、育成人材、特色が学生や保護者などに周知されているか 学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。</p>

	<p>これら、理念、「ゼミ学習」による授業運営及び基本目標については教職員に周知徹底し、学生、保護者等にも周知に努め、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p> <p>二．各学科の教育目標、育成人材像は業界ニーズに向けられているか</p> <p>育成人材が業界ニーズに向けられるように、毎年開催する学内就職セミナーや教育課程編成委員会を通じて業界の方々の意見を取り入れてカリキュラム編成を行い、見直しを行っている。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「学生から信頼され支持される学校づくり」という基本目標や、育成人材像・目指している教育理念が教職員に周知徹底され、また、資格の合格実績や就職実績が学生・保護者だけでなく学外への公表や入学希望者にもしっかり案内され、学校運営に取り組んでおられることに感心した。</p>
<p>基準 2 学校運営</p>	<p>イ．目標に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、理事長からも繰り返し全教職員に周知徹底されている。各部署では目標達成のために数値目標が明確にされており、その目標達成のために授業を組織的に運営している。</p> <p>ロ．運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化され機能しているか</p> <p>運営組織や意思決定機能は運営組織図に従い運営しており、各部署の役割と権限、人的体制を十分に整えている。</p> <p>ハ．人事制度や組織整備がなされているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度は、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備している。人事考課制度については、その概要を定めた文書がなかったため、昨年度整備した。</p> <p>ニ．教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は管理職がおこない、学校間の調整は企画本部また学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしている。</p> <p>ホ．教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>教育活動に関する情報公開については、資格取得実績や就職実績は、その都度ホームページで情報公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。その際、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せている。</p>

	<p>へ．情報システム化などによる業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システム化等による業務の効率化のため、学務システム（入試システム、学籍管理システム）経理システムを個々に運用している。また、就職部は求人情報をデータベース化している。学務システム（入試システム、学籍管理システム）は仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生時代から学校に関する情報公開が適切に行われていたと感じていたので、今後も継続してほしい。</p> <p>(2) 「情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、学務システムが仮想プライベートネットワーク（VPN 網）で結び、セキュリティ強化しているとのことだが、具体的にどのように運営しているのか。</p> <p>【回答】学務システムは職員が担当業務で権限が与えられている。システムを用いて作業する際は各職員の ID とパスワードでログインして行い管理している。それら運用及び管理の徹底（ログイン状態、ダウンロードしたファイルの管理等）システムのチェックをこまめに実施している。</p>
<p>基準 3 教育活動</p>	<p>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>カリキュラムは教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考にカリキュラム作成委員会を開催し、定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習を取り入れており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も涵養している。</p> <p>ロ．教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関として修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>各学科の目標を明確にし、官公庁説明会および学内就職セミナーで、官公庁および企業の人事担当者から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を含め多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。</p> <p>ハ．学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>各学科等のカリキュラムは、年 2 回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p>ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するための授業科目を設置している。</p>

	<p>ホ．授業評価の実施・評価体制はあるか 授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施し、授業運営の改善を図っている。</p> <p>ヘ．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 成績評価・単位認定の基準は明確に定め、学則、専門課程便覧で学生にも周知徹底し、厳正に行っている。</p> <p>ト．資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか 各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。</p> <p>チ．人材育成目標に向け、授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか 育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>リ．教員の能力開発のための研修などが行われているか 年間を通じての自己啓発や、外部企業等と連携して研修を行っている。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 国家試験の専門科目など机上の勉強だけでは内容がイメージしにくい分野について、職員自ら研修等に参加して知識を習得し、それを学生に対する授業に活用している点は評価できる。</p> <p>(2) 情報セキュリティの研修に参加しているとのことだが、それは全職員が対象か。</p> <p>【回答】職員の代表者が研修に参加し、研修内容を全職員にフィードバックしている。内容によってはIT分野担当職員対象に実施するものや、全職員対象に実施しているものがある。基準2のように学務システムについては全職員に対して徹底している。リ．の「職員の能力開発のための研修等が行われているか」の評価を3にしているのは、現状に慢心することなく、向上していくためである。</p> <p>(3) 特記事項に「校務分掌一覧」とあるが、どのようなものか。</p> <p>【回答】学校組織においては、通常の授業運営以外に、学校全体の業務の分担が必要となる。管理業務、学校行事関係業務等を教務・事務からそれぞれ担当者を決めて行っている。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ．就職率の向上が図られているか 各学生が習得した専門知識を活かせる希望職種や希望企業への就職を果たす</p>

ため、学生、クラス担任及び就職指導担当職員と連携して就職活動に取り組んだ成果が就職実績に表れている。

ロ．資格取得率の向上が図られているか

独自の教育システムである「ゼミ学習」による授業運営により、国家試験等の各種資格試験において高い合格実績をあげることができている。

< I Tビジネス学科 資格取得実績や就職実績の紹介 >

資格取得実績や就職実績は素晴らしく、先生方の指導の賜物だと思う。

< 情報管理学科 資格取得実績や就職実績の紹介 >

情報処理系の資格取得の実績が特に素晴らしいが、名古屋校独自の具体的な指導方法等はあるのか。

【回答】熱心に指導に取り組んだ成果ではあるが、東海地区の高校はもともと商業教育・I T教育に熱心に取り組まれており、その結果、しっかりとした基礎知識をもって入学してくる学生もいる事も一因であると考えられる。

< 会計学科 資格取得実績や就職実績の紹介 >

学園全体で税理士試験合格者 10 名は受験総数何人に対するものか。

【回答】税理士試験合格とは受験科目 5 科目全てに合格した者が税理士試験合格者となる。だから、前年までに科目合格をし、残り 1 科目から 3 科目を受験者する者が対象となる場合が多い。そうすると例年税理士試験合格の可能性のある対象者は限定され決して多くはない。また、税理士試験については試験制度の特色から、受験科目数を選択でき、在学中に 3 科目、4 科目を取得して残りは働きながら勉強して合格を目指し卒業していく学生も多い。逆に、公認会計士試験は働きながら合格を目指すことが困難な試験である為合格してから就職していく学生が多い。それが税理士試験と会計士試験の合格者数の差にも表れているといえる。

< ビジネス学科 資格取得実績や就職実績の紹介 >

就職については、年度ごとに実績にばらつきがあったりするのか。

【回答】特に年度ごとにばらつきはない。今年度も順調に推移している。

旅行業界、鉄道業界には何割くらいの学生が就職しているか。

【回答】例年 5 割から 7 割くらいの学生が就職している。業界の対象範囲を広げ運輸関連（バス業界）も含めれば 7 割を超える。

残りの学生は旅行業界、鉄道業界に就職できないということか。

【回答】そもそも、在学中に他業界へ就職先を変更する学生もいる。また、実際に旅行業界、鉄道業界へ就職活動していても結果として就職できていない学生もいる。その場合でも卒業後に転職の相談に来た際は、旅行業界、鉄道業界に就職できるようにバックアップしている。

ハ．退学率の低減が図られているか

一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っており、欠席した学生には担任が電話することで長期の欠席にならないようにしている。また、学生相談室を設置しており、担任以外にも相談できるようにしている。

基準 5 学生支援

イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか

就職希望者には、就職相談室を設け、就職指導担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。

ロ．学生相談に関する体制は整備されているか

学生の様々な悩みを解決していくため、それら相談はまずクラス担任が受けるが、担任に話せない事柄もあり、その時は学生相談室が設けているので、学生は相談室の担当者に相談をできる体制を整えている。

ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

経済的側面に対する支援のため、特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。

ニ．学生の健康を担う管理体制はあるか

学生の健康管理のため、学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施しており、指定病院が学生の健康相談などに応じている。

ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか

課外活動として、クラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動があり、それらは学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。

ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか

遠隔地出身者のための学生寮など学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。

ト．保護者と適切に連携しているか

保護者には、学生に対して適切な指導、相談を行うため、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付しており、必要に応じて保護者と面談を行っている。

チ．高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

「高校生の就職を応援します」と銘打ち、無料で高校生の民間就職支援、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生に参加してもらっている。

この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。

(1) 基準1とも重なるが、「学生から信頼され支持される学校づくり」という基本目標があり、その目標達成のための様々な支援制度と取り組みが行われていると

	<p>感じられるので、今後も続けて欲しい。</p>
<p>基準 6 教育環境</p>	<p>イ．施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか 設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っており、学生に教育上支障がないように整備している。</p> <p>ロ．防災に対する体制は整備されているか 防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「防災に対する体制は整備されているか」について、避難訓練などが定期的に行われていて、学生への災害時の指導もきちんとされており安心できる。</p> <p>(2) 災害時の備蓄品は準備しておくことが必要であるが、現状はどうなっているのか。</p> <p>【回答】現状、備蓄品は準備していない。備蓄に係る費用及びその保管場所の問題があり、今後の課題である。名古屋駅前という立地から、災害時における帰宅困難者等の受け入れは可能である。</p>
<p>基準 7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ．学生募集活動は適正に行われているか ロ．学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 適正性の確保と、学生募集活動において、教育成果を正しく伝えるために、公認会計士試験、税理士試験、情報処理技術者試験などの高度な試験や公務員採用試験合格においては、信憑性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せている。</p> <p>また、入学者に対するアンケートを行い、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p>ハ．学納金は妥当なものとなっているか 学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 近年、税理士や公認会計士を目指す人が少なくなっており、その影響は入学者数にも影響しているか。</p> <p>【回答】東海地区は商業教育が盛んであり、高校時代から簿記を勉強している高校生が多い。そのため更に高度な知識を身につけて将来の職業としたいと考えている高校生のニーズもあり、それほど影響はないと考えている。</p>
<p>基準 8 財務</p>	<p>イ．中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか ロ．予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p>

	<p>財務全般について少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要があり、予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定めている。予算の編成は適切に手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>八．財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>二．財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、特に意見はなかった。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ．法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>職員には毎年愛知県県民生活部県民総務課人権推進室より講師を招いて人権研修を実施し、受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣し、その結果を受けて資料を全職員に配布している。法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか</p> <p>個人情報に取り扱いに関し、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定しており、学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。学生の個人情報については、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p>八．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>二．自己評価結果を公開しているか</p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果についてはホームページに公開している。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っており、個人情報保護に関しては、個人情報保護規定やプライバシーポリシーがしっかり設定されているので、このまま継続してほしい。</p> <p>(2) 法令遵守をしっかりとされていることが学生さんからの信頼を得ることに繋</p>

	<p>がる。弊社でも学生さんの参加する旅行の参加者名簿のやりとりの際にも気を使っていたので、しっかりと取り組んでおられる印象があります。</p>
<p>基準 10 社会貢献・ 地域貢献</p>	<p>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ．学生ボランティア活動を奨励、支援しているか ハ．地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>社会貢献・地域貢献全般については学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からも評価を得ている。</p> <p>この基準についての自己評価は委員の方から「妥当」とであると評価され、評価委員からの意見は特になく、このままの現状で良いということだった。</p>

〔総括的な意見〕

評価項目についてはすべて適正であると感じた。『学生から信頼され支持される学校づくり』という学園の基本目標を達成するため、教職員が一丸となって学校運営がされており、その成果として就職や資格取得で実績が出ていると感じたので、これからも継続して取り組んでほしい。これからも沢山の学生がそれぞれの目標を達成できるように、学園の基本目標を大切に励んでほしい。